

野々村一雄 のりむら ひとしげ 経済學、經濟學博士。大正二年二月十日生れ（一九三二）。昭和十年大阪商科大学卒。滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）調査部、大阪市經濟研究所を経て一橋大學教授。ソ聯經濟論專攻。

譯著書の、スウエイジー著『社會主義』（譯、昭和二十六年一月）二十

五年岩波書店「岩波現代叢書」、『ソ連邦の經濟』（昭和二十八年

十月）二十七日岩波書店「岩波新書」、『國民所得と再生産』（昭和

二十二年二月）二十九日岩波書店「一橋大學經濟研究叢書」、ドツブ

著『經濟理論と社會主義』全二冊（共訳、I・昭和二十二年八月八日、

II・二十四年二月）二十七日岩波書店「岩波現代叢書」、『学者商売』

（昭和二十五年十月）二十日中央公論社）、『ソヴェトの經濟力』（昭

和二十六年八月）二十一日岩波書店「岩波新書」、『ソヴェト旅行案

内』（昭和四十一年九月）二十四日中央公論社「中公新書」、『ソメ

コン体制—社會主義的國際經濟協力の研究』（昭和五十年七月）二十八

日岩波書店「一橋大學經濟研究叢書」等。

